

醫要拔萃

ヤ 9
872



所 十一日
冊 422
巻 872

書名 五ノリ



函 合 之 五

一生 招 美

一 子 二 細 半 二

一 枉 心 方

一 ケ イ ガ イ 日 右 傾

関 合 ノ 美 シ 合 延 ハ ツ キ ハ シ ヲウ
中 委 ナ ド ク 二 痛 吉

○ 同 業 合 業

一 子 大 一 細 半 大 一 出 大

一 生 招 美 中 右 以 他 為 考 活 也 考

大 合 延 為 ヲ キ ハ ツ キ ヤ フ シ 前 痛

吉

○ 同 函 封 葉

一 五シクシノミ 黒梅 大 一フシ 大
右 女カ子ニテトキ 符也 比 符也
弟ハノ 神ヲナレヤハノセヤウノア
中ニ在

○ 同 封 葉

一 之 角ノ 黒ヤキ 大 一ヤシ 介ヒ 大

一 フシ 大 一丁子 中 右 粉ニメウツキ
ハグキヤシシウキ 神 吉ヤリシニテ

ハグキニ又ルヤ 比 符也

○ 同 函 封 葉

一 タシハシ 三ニメシハシ 三ニシシハシ
カス

一 ワシカメノキハシ 右 丸ニテムシノ
クヒタルハニメルヤ 比 符也 公 尊

右 五色ノ 通 右 粉 粉 粉 粉 粉

リ 印 赤 西 同 葉 味 珍 三 之 也

寛 永 十 年

九 月 日

中 田 白 奉 為 葉

法 名 在 葉

一 血 苗ノ 葉 一 キリシケウ

一 リウクツ 一 メ 粉ノ 粉 粉 粉

右 之 粉 粉 粉 粉 粉 粉 粉 粉

○ 十 三 日ノ 葉

一兵馬子大 一月あな大
 一タニハシ中 一四ツニツツ
 一五ニシ中 右結し物
 一右ノ子ノ 一三ツトヤ風
 一付与

○子フトノ妙聖

一コシラノ物 一柳ノ實丸
 一ウラゲク 一山鳥の尻尾焼
 一右ノ子ノ 一他ノ物
 一付与

○延寿延親丹

一黄連 白あり 一青皮 白あり
 一陳皮 白あり 一枳壳 白あり
 一小黄連 一黄芩 一白朮
 一大黄 一茯苓 一五苓散
 一之棧 一一人参
 一本香 一丁香
 一雷丸 一赤小豆
 一白丁香

一乳香ソノミ

一川棟子ミナコ

一麝香ソノミ

一雄膝ニヤス

各モトメ

一國危

一担實タカ各モトメ一朱

藥合成檢之後右末ノ

石麥粉小麦粉各モトメ練白

可用但雄膝方之テ辰砂各

●是程凡一粒湯之用

右茶ノ能中風癩

癩寒心痛

病瘰癧傷

瘰瘰癧瘰

中心相言

瘰瘰癧瘰

小兒驚風五疳

藿亂疳積疳

諸法一切妊娠名用了料

別取情良刻去處海為

本ノ々々々々

○晴氣骨疾藥十百方

一山椒木骨節

一入麥毛毛下

一石麥粉

一石麥粉

右椒木山椒白水洗

去氣之丸之丸之丸之丸之丸

力力之力之力之力之力之力

人参のツル、割て二キウの
焼洗は、しいてカイ、雨
P、ラ、ウ、ク、ン、マ、キ、ウ、ク、ク、ク、
之、度、ヤ、申、以、指、三、子、リ
必、申、一、程、燒、用、也

煎法

- 一、會、の、二、三、五、入、二、五、三
 - 一、二、番、同、三、五、入、五、五、日
 - 一、三、番、同、三、五、入、五、五、三
- 香、折、第、七、月、ク、ノ、日、之
多、三、七、日、存、三、七、一、貼、ノ、用
枳、物、味、苦、性、平、酒、酢

將、高、毒、物、忌、了、性、同、之
食、計、可、テ、去

○ 山、向、少、藥、唐、液、午、負、赤、脈、血、道

一、桂、心、一、斤、膏、肉、桂、白、術
木、香、川、芎、苗、蓮、苗、苓
人、參、當、歸、多、下、耳、小、少

○ 柴、胡、湯

一、柴、胡、一、半、斤、夏、一、枳、實、
一、人、參、一、斤、草、一、苗、苓、
右、等、分、煎、法、如、常、加、藏

大便ニスルニ大黃 血ノハニ不
シワヲスルニ五香ノ 頭痛ノ名ヲ
ヲ加フ行ハ七日傳フ有

○ 赤石

一人參ニ高一寸ヲキテ熟シ兩ニ燒
一地黄ニ煮シ一斤ニシ刻シ決シスル
一トウヤクノ香一クニイト有
一巨ニニシサリ也ハ也ハ月ニレトクニレ
陰ノキニユニシテ腎ヲケテラ
腎ノノリ久クニシテレ根
葉ヲ去ル
右天ノ汁 血ノ下リ後ニ
合ルレル湯ノ少ク極メ用ス

赤石白腹ノ氣ヲ精ニ益ス骨ヲ痛ム
氣ノノリ頭ノ痛ム 霍乱ニレ
湯ニ用ス

○ 龍舟香 日ノ至ニ煉ス

一龍脛ニ系一麝香日
一全ニ體ノ命ニ系一塩硝ニ系一
一白丁香ニ系一活石ニ系一
一椶石カカラスリ子ノ真珠
一代精石一辰砂多クニ投テ下ニ
右ノ石ノ草ノノリノリノリノリノリ

健く子ニテし子り道ノ十キ程
柳ノ葉ニテ子ニ

○馬之具指

一麝香ニ朱一人參を西一辰砂二兩

一國危ニ多一光明丹

右蜜ラフニ後ニ久クニヤカッ
スリ合キトニ地菜ラ子ニ

○丁子知ツハリハク出方也

一合香

毛取キサミカハラケテラ子
其時ハニヤキニユニ他ニ付
ニスリ

一丁子ニ方子ノモク則クツム

一カシヤラニ方白ムニヨク洗割

火ツム

一木香ニ方ニモク火ツ

一カシツニ方カワラ去割

一為聖ニ方白ムニ又ニヤサシ

ハシヤラ子ニ

○
柳ノ葉

一トウキ一地黄一茵芋一白芷

一為藥一ツワツニ一ツツ

一草ニ下右者ハ大根ニ矣
也

○ 香薷散

一 香薷 二 白通豆 二 白通豆

一 甘草 一 甘草

一 薄荷 一 薄荷

一 丁香 一 丁香

一 木香 一 木香

○ 加減香薷散 下後好也

一 香薷 一 香薷

一 白通豆 一 白通豆

一 茯苓 一 茯苓

一 神麴 一 神麴

一 茯苓 一 茯苓

一 腹痛 一 腹痛

一 吐瀉 一 吐瀉

一 下痢 一 下痢

○ 小兒虫ノ藥

一 丁香 一 丁香

一 甘草 一 甘草

湯 湯

○ 丹 丹

一寸ケノカラシニ包内ニシク玉
焼クメノアリシ月

○ 香蕈散

スルツキ撰取
各ツツノ口ニシク
紙ヲセテ包ニシテ
湯ニシテ蒸ラセテ
用ス

一ニソ大丸のち

一カウツニ大

一ニシ中

一カチチチ

右知常煎用ニトモシノ白
根手一足ニ切テ蒸ラセテ
用ス

○ 加減

一頭痛

一ニシ

細考加

一白朮

一茯苓

一杏仁

一暖氣

一桂枝

一五味子

一大便通

一杏仁

一茯苓

一小便通

一木通

一茯苓

一茯苓

一茯苓

一茯苓

一茯苓

一茯苓

一茯苓

一サイコ

一カウホク

一茯苓

○ 瓜付薬 種はひも角又い
けきせうりー

一ホウラク子 一りんえ子

一カサウ少 右物ヲミ

うきこえすくいはし
すねぬ湯し目

○ しぬ虫美 千よめ

一茶一ろ 一柳一本ノカウ

一いーいふ 右ら又物ゾ

等分大・ほこぬ己
湯し目

○ ころりあ骨うらうら

一息のこと 右白けりか
湯し水し目

○ ころり茶

一わろり 右一太山草

右物ヲ破しきく

○ ころりきこし茶

一ろり 右一こり物の

右又一和右ニ又と物

しころりきこし茶

わろりのみくし

○ 少り薬をん後
 きのりの通に血
 血
 あらゆるしん

一人参 ツノ 一肉桂 ツノ 一川芎 ツノ

一地黄 ツノ 一桂 ツノ 一茯苓 ツノ

一黄芩 ツノ 一黄連 ツノ 一黄耆 ツノ

一丁子 ツノ 一皂角子 ツノ 一大黄 ツノ

一本香 ツノ 一白朮 ツノ 一骨 ツノ

一耳草 ツノ 己上核薬

右刻にかつていふ多
 けいほしんりきあつて
 おのれしんりきあつて
 用

○ 薬中散

一人参 ツノ 一芍药 ツノ 一甘草 ツノ

一白朮 ツノ 一茯苓 ツノ 一川芎 ツノ

一地黄 ツノ 一桂 ツノ 一茯苓 ツノ

一黄芩 ツノ 一黄連 ツノ 一黄耆 ツノ

右猪ノ唇氣付露乳

出用中ノ下後云

ト云々云々云々云々

云々云々云々云々云々

○ 積之草

一 凡ノ云々云々云々

一 凡ノ云々云々云々

云々云々

○ 和書ノ云々云々

一 凡ノ云々云々云々

一 凡ノ云々云々云々

一 凡ノ云々云々云々

一 凡ノ云々云々云々

○ 川ノ云々妙藥

一 明徳ノ云々云々云々

一 凡ノ云々云々云々

一 凡ノ云々云々云々

一 凡ノ云々云々云々

わしれり必しひとふり
てみりてしりていこころ
いこころをわしりて
○△人参取由教

○△人参取由教

一人参 一本草 一花卷
一可苦 一桔梗 一福法
一梗法 一紫胡 一紫胡
石等分 かつか ぎふぎ
無子又 名大の中
一こがら 一こがら
一不痛 一不痛

一身七五ホトシリ 一三の
一ス、し、ま、い、法、存、

○△ソエす、〇、美、倉、

一人参、子 一龍腔、子
一、ま、金、下 一、天、南、生、子

一アカニメ、倉と十、三、ワ、ク
ワク、シ、セ、ト、ト、ト

○△こ、や、ク、肉、茶、

一山、何、果、有、一、山、何、果、有、

一人参、一、身、何、王、粉、メ、チ、ル
一、山、何、果、有、一、山、何、果、有、

○△神仙流七ツ葉雁杓カサケ左

一梅子トク一ツトク一木トク一黒トク

一ウイトク一七トク一トトク一イトク

一黄トク一茶トク一茶トク一茶トク

一トク一トク一トク一トク

○△下トク一トク一トク一トク

一トク一トク一トク一トク

一トク一トク一トク一トク

一トク一トク一トク一トク

○△下トク一トク一トク一トク

一トク一トク一トク一トク

一トク一トク一トク一トク

一トク一トク一トク一トク

一トク一トク一トク一トク

一トク一トク一トク一トク

一トク一トク一トク一トク

一トク一トク一トク一トク

○△南トク一トク一トク一トク

一店口ウイ目 一ツハコメシルル石

一店本数 百枚 一店胡二力 三枚

一由を中右由ト夕ハコメシルト

コトトニツテアカ子踏くくあ

セシトソククシテトホシテ見ル

トホル時 辨ヲ入テるあひリテシ

ソクメトホシ見ルを徳トホル時物
チクテを **白膏菜**

一店辨百目 一店本 中シツ ちんあテ

一ヤシヲ ちん ちん右由ニテ見ル

アハノクチヤムニテ者然テ辨ヲ入ガ

又子丸物入ガサモテテ店ノ土ヨメ

張カカヤセセテあカクリウ健

○ **全赤之茶**

一店辨百目 一ツ石 中シツ 由を中

一ヤシホ入テ右右ヨリヤウ回あ

ノ由ア子茶 **黄之茶**

一辨 松 一黄連ノ粉 子 一黄柏粉 子

一由を合白之茶 中 今テ子リヤウ

日か ○ **△黒之茶**

一トリウ思焼 子 一ヨウ 子 一由を合

右子リヤウ白前 子 他 子 子 子
イハスナリ

○合カニのイサノ茶
一ナシカニ茶一ニシテニシテ

一ニシカニ茶ニクニテカニ

一ニシカニ茶ニクニテカニ
ニクニテカニニクニテカニ

一ニシカニ茶ニクニテカニ

○△ニテカニテカニ茶

一ナニカニテカニテカニ茶

○水ニ茶ニ茶

一ナニカニテカニテカニ茶

加ハケニ茶

○△ニシカニ茶

一ニシカニ茶ニクニテカニ

一ニシカニ茶ニクニテカニ

○△カニ茶

一ニシカニ茶ニクニテカニ

一ニシカニ茶ニクニテカニ

○△神山大し番

一ニシカニ茶ニクニテカニ

一ヶシヨシヨ 天口名 一泉木 日

一ニツケイ 右神キナシヨシヨ

由是同右茶ナシタシヨシヨ

一及ハヨ日秋ハセハ冬ハナリ

一丁ニ画葉ツメナリヨシヨ

ナレ能葉カスナリヨシヨ

右ナシヨシヨ丹が燻葉

何モニ痛イハカ又ハ能

ナレヨシヨシヨドハルヨシヨ

一ツメノスコモリヨシヨ

クタナナツクハシヨシヨ

○△押茶

一タニシカウヨシヨ 黒焼一ツヨシヨ

一太山ノ葉ハホシヨシヨ

ツクハナリ

○△カウシヨ茶

一マナシヨシヨ 一カシヨ

一ヨシヨシヨ 一ツシヨシヨ

一ヨシヨシヨ 何モ粉ハシヨシヨ

一ヨシヨシヨ 白ニカハカト

少ウロ焦焼つてニテワク

○△押茶

一ツへヒカウロ焦焼一六リシ大

一有石^中一少是粉^中一アハヒ

カイスミ^中焼^中何モ能来以
す^中テ^中モ^中分^中ノ^中計^中モ^中付^中キ^中

○△台

一太山^中一ウラ^中一ウラ^中

一三^中一三^中一三^中一三^中一三^中一三^中

○△千リ茶

一イ^中一イ^中一イ^中一イ^中一イ^中一イ^中
お^中分^中メ^中来^中取^中ル^中シ^中付^中ル^中

○△回方

一干^中一干^中一干^中一干^中一干^中一干^中

一白^中一白^中一白^中一白^中一白^中一白^中

一少^中一少^中一少^中一少^中一少^中一少^中

七又^中七又^中七又^中七又^中七又^中七又^中
七又^中七又^中七又^中七又^中七又^中七又^中

○△以^中一^中一^中一^中一^中一^中一^中

一子レカウネ 一子レコシロ 喉使

一カウレクシロ 一カウレクシロ 加アツル

一太黄 ニホトアツル 七ノ分一カ

一石ト碎花 ノモイテ 一ヨクシ

一ケケイム アツル 一ヨクシ

一子レ 但粉甘ホシ

○今カニ 喉使下シ

一太黄 ニホト 一子レ

一タウ ニホト 一子レ

一子レ カマ 一子レ

一子レ カマ 一子レ

一子レ カマ 一子レ

一子レ カマ 一子レ

一子レ カマ 一子レ

一子レ カマ 一子レ

一子レ カマ 一子レ

一子レ カマ 一子レ

一子レ カマ 一子レ

一子レ カマ 一子レ

○合子ツト下之

一ツ又本は二三ト下

一寸之ヲ一フイ一若おふ草

月小葉ホニト七長

○△産ハヤメ薬

一魁前足ノ内ノ毛ヲ黒燒メ

ソクイニツシニ三日第一又リ其

女ノ両ノホウニ付ル生ヒシク

其てトトルニ

○△血道産後ニ先

一香附子ハ子一カシゴメハ子

一車草モ母 右細末ノ小カ

ツリ一スリヒ寸湯ニテ用

○△人多敗毎救 ニヤリカニ頭痛
多敷熱口カ
ワキホメクニエロ

一柴胡 一桔梗 一人参

一芍药 一茯苓 一枳殼

一前胡 一羌活 一獨活

各五兩 一車草 二方

煎法如常

○△安中丸 合ニヤクニ長

一カシウラニ兩 一ワウヘキ 二兩

一クミンニ兩 一ヤウハイニ兩

白濁ニニ長

一カニキヤソニヨ 一ハベソナリ日
白多ニハナ

右・クワシニナクニテ月工 ニ粒

△委命散 血ノ痛腫ニシ
ニクル血ノアセル
不足ニモ作セル

一アカサニ 一ワニ

一ナシテシノニニナニナニナニナニ

一カウラヨモギ 名ニ子死行モ

カゲおもノキワニ縮ニ包

クムニアノモクム

○△牛苗散 根腫ニキ

一ウシニ 一カウニ

一カツニ 一ゴニシ名ニ

一ニシニニ子 一ナ草ニ子

名細末ノ疾所ニ付ルニ

根腫ニ付ルニカ子ニヤ

身ニ付ルニ亦針ニ

考草散ニニニニニ

ソノニ子苗散ニ付ルニ

○△ヒヤラソノ薬

一スクモノ霜大 一朱ニ

一梅干 モロシク去テ 押ニ

テホニ水ノリニテ

夕ツタニニテ

此の梅酢ニシテモ毎ハ朱
十クハハウマラ入是ハツモ
ヨロシクハハ

○△牛黄丸

是ハ何ノカニモ
吉也

一人参ト 一山茱曰

一肉豆蔻ト 一杜若木トカ

一丁子トカ 一本丁香曰

一苗ハヘキト 一橘根トカ

一芍薬トカ 一香附子トカ

一厚朴トカ 一コウワトカ

右ノリニテ九斗ノ数

○△ハ勝色之次第

一ハイトカ 金銀トカトカ

一ヒトカ 土トヨラツトカトカ

一ニシトカ 大母トカトカトカ

一カトカ 木春トカトカトカ

一フシトカ 冬トカトカトカ

右ノテ如此可也

○△ハハハ

一腹ハハ大便トカトカ

一身ヲガケカトカトカ

一コエカワリ

一シハフキスル

一骨痛

一白鼻タラズ

一ツメ多ク云

一ツメ又クルモ有

一眼内ニコカシラ目尻ニカクル事有

一乳とアニス

一白鼻ヲセリ

一白目多ク

△いのまゝく身へカク

一顔黄ク又一後ニ身モカ^ス耳^ス痛

一カベニカワラテラ^ク一不使^ス黄^ク

一者ヲ^カ蚊^ノ一土ノ上ニ^ツモ^カカ^レ

一ヘノコユガム^一大便黄^ク一不^食ス

一耳分^けむ^レ一ヘノコニ^穴アリ^ク

△ニニノカラ

一ノドカワリ^一熱^ク氣^多ク有

一顔アカシ^一常^ニ後^ハル

一ノト^ハル^一大便^赤シ^日

一同ノ内海^ヲガ^ブ一白^鼻タ^ラズ

一熱^中湯^ヲ好^ム

△ウ^レの^キ

一足ホメク

一大便アカシ

一^まち^筋多^ク

一^脚又^クル^セル

一^脚シ^レセ^ル

一^目シ^レ中^シル

一 月ノカム 一 海ノ二橋

一 年受リツル 一 小使シケレ

一 七歳迄物イハス 一 三五五ノコ

一 一ナシ 一 月モヨクシ

△ニシヤリカレク

一 小使ニ言 一 白シケレ

一 湯水スツ 一 月モヤスル

一 コエカレハ 一 タモハツ

一 オエヌスツ 一 大使ニシ

一 中ニサエムル 一 夕ニシテ水又

一 ラハレハシメ 一 ラハレアツ

△ニシノ見葉

一 毛クツルハ 一 タツシヤ日

一 千ヨシイ日 一 ハシケニホ

一 公リシハ 一 才ハヤウ日

一 毛ツカレタニ集 一 一ニ口ヨシ日

一 コリシガ 一 タイフシガ

右是礼ニル用ニ父ヨクウナ
ハシテ大使ニ白キナメチスル

ハウセハリムシキヨセトス

△火ノカニ茶

一タイフツカ 一ニツツクカ

一ワウツクカ 一セイウツクカ

一カニツク 白 一モクツクカ

一カニツクカ 一カニツクカ

一ヨクイニツカ 一ワウツクカ

一フクツクカ 一リウツクカ

一セウツクカ 一セウツクカ

一カウツクカ 右・丸用ナリ

一火ノサリカニハニツクカ

喉湯タリモツクカ

名出スル

△火ノサリカニ茶

一リウツク 一ワウツク

一ワウツク 一ワウツク

一カニツク 右・錠用ナリ

サイク用ニ在熱氣ツメ

ハリ大俵アリクツトガイム

子ボカリヨウボキナリ

△カニツクカニ茶

一ヨクイニ下 一ヒクツラ
 一ウラタニ日 一カニサウ日
 一カジツ 赤 一セイサウ日
 一サニヤノ日 一タイフクシカ
 一カニ石 赤 一カニツ 赤
 右・龍衣ニハサシラケルコサ
 スニカニサウノカニハリニ
 一父アサクニルニムヤリハナ
 ノ下ニサスチアリハナサセニ
 ○△ニニサウノカニサホ

一ウラサホ 一ケイメイニ
 一カジツ 赤 一サニヤク
 一セイサウ 赤 一カニサウカ
 右・龍衣ニハサシラケルコサ
 中ニスミヤクノム大使白ニ
 一尾ニ白ニサトニツクニ
 月ニアリ也ニハクニ
 シスヘシ右子勝ニナニ
 右子如織スニ

○△五カニツフレ血赤ニ

一人参一分 一カウツ五分 一丁子五分

一トウク五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

父シヨスル五分 一トウク五分

△ニケシ五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

丸下五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

又セ五分 一トウク五分

△ニケシ五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

右粉五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

一トウク五分 一トウク五分

如ハハシクサリノカコウリスク口冬
筋ハチノカノヤクモヤ

アツクフヘシ

余見カシ目ハ赤ク目

カハルナリ 日暮クウトウ
クナリ 牛黄丸モ他

一日中ノカウニカフ

ニセリ鏡ノ用ナリ

△小児 粉ノ目ハ赤クヨリ
用ハルモ茶

一セマカウ 一イニハク

一ケツメイ石 若ホク

△白濁 服ホシカタルガサナリ

一ナシモクニト 一ニヤクハクニト

一ニシセキニト 一ニシクニト

一ニシシカ 何モ無シ物ナラス

一ニシホシウニシタカ

△カシノハサレモカコナリ

一タウキ 一ニシクヤク

一セシコ何モ多カ合フニト

△ハノハサレモカコナリ

一ニシヤクニト 一ニシカウニト

一カヤシウト 一ヤシウト

何物メキヌ包フリカシ

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

一カヤシウト 一ヤシウト

カシノ茶ハコト

△小兒夕ツカウノ茶事

一ゴハインヲ物ニカウノ介ニ
セリハシスルナリ

一小兒程事ニ師苑ノ茶事

下ニテ在セリハ障氣シカスハ
ナラスヘシ

△大使シケワトテ何ト金下

一サノカチ實一ウリハチホム

メノサキテハトシナリ

一トトカウク事ニカウトテ

カ事ノ二種ナリオモシハフ百

カモノ物ナリトトスハシス茶

一表門ニカ一カレ石カ介

右粉メテナリ

△小兒合物ヲ治タカレ事

是モカチナリカセシ茶事

△小兒平足ニシケテノド

カウキトメ下ルナリヤウシメシ

アカレチナリ

△小兒指ノカミノ茶事

モカシノサウノカチナリ

ウノ茶事ニナリ

△小児アセチアクリン一五葉
一トウキ一カハ石木公金白丸也

△小児 カミノ申カフトカサ
トテ出来シカシ
ハゲテナル相成葉ホハ

一カラスノシヲテヨクスリテカミ

一由テ付ヨ内葉ハ子ノ葉ノ葉

余見ウチフシ及ル汁林ヨミ

余見同ノ名所子カク思服友右ハ

ヨル一ハハノ葉ノカサリ

葉ヲ一五カトセウノ七葉ス

△小児カミノハサレル事ハ 葉ハ

一當歸一全地黃一芍薬

一葛粉各等分ハ毎カ格括

一トウキ ハシラフスミイル事ハ
ホウフト云ハ

一半夏ヲ粉メ込テ一カハサレ

一トウキ ハシラフスミイル事ハ
ホウフト云ハ

△小児カミノハサレル事ハ

カミノハサレル事ハ

一トウキ一白根ヤ一守雅切ノムチ

カミノハサレル事ハ

△小児生シテ乳ヤクセカハサレ

一カサウ一大黄 一トウキ一白

一カサウ一大黄 一トウキ一白

△小児 カミノハサレル事ハ

カミノハサレル事ハ

一ウツキ皮 一ホケリミ 一コハツ一ケイ

一全地黄 一ホウル 一薑飯の甚

一白茯苓 一合分粉メヤリ

毎ク十粒ツケルコト

○小児夜啼ゾノカキナリキ

一葱葉ヲ中ニミナシテ下ナクカキ

一トホトホト事ハ見ル

一合分粉メヤリホケリミ

○小児ヤラホトスル時ホケリミ

一合分粉 一ホケリ 一クシ

一カキナリ 一ホケリ 一カキナリ

一ニヤラガ名等分 合分書

○小児イボノイツル者有

一合分の虫ヲキイツルモノ

一胡クノ花ノシキモノ

○鼻ツサレハ事有

一合分ノ葉

一合分ノ葉

一合分ノ葉

○小児顔モセテ色赤ク

ヤマシ葉

一合分ノ葉

○小児疳ノ心ノシ

一合分ノ葉

一合分ノ葉

一カウクニ下一フクニ下大物
ノ・根ニ丸者くくくくく
右一流下坂國古河く
香養及妙は書ふそ地
りんくくく

○△大香

一サニ香天黃日一蘇木日

一木香日一サニ香香日一人参日

一カニ香一ツツ日カ日カ日

二ニ香カ日

○△子ツ日カ日カ日カ日

一子カ日一カ日一ヒ日カ日カ日

一ユ日カ日一ト日カ日カ日

一白日カ日カ日カ日カ日

一カ日カ日カ日カ日

一カ日カ日カ日カ日

○△カ日カ日カ日

一ア日カ日カ日カ日

一子日カ日カ日カ日

一ト日カ日カ日カ日

一カ日カ日カ日カ日

一カ日カ日カ日

[Faint, mostly illegible handwritten text in a cursive style, possibly representing a list or a narrative.]

○△フ子ニイタルホ

一オレケカウチ一夜西ツト足
焼^ニ水^ニテ^ニ用

○△イニサホリカニモ

一草^ニ標^シフタ^ニ焼^ニ一^ニ袋^ニ米^ニ角^ニ日

一ウ^ル公^名 一^ニヤ^コツ^粉

一角一ウスカシ器一メカナムク

一白粉何モ粉^メ胡^ニル^油テ

モ^シカ^リカ^ケテ^モモ

○カウヤク

一キ^リケ^クフ^ニカ^ウモ^命

一子カウを焼く 一白粉を焼く

一松皮に松皮湯子リニシテ

ハコヘノシニシテ紙子にシテ

ヤシチアトスワカ茶スオク

トウカカチ弟病で用

○五香湯

一木香一沉香一クワツ香

一クシ香一ニラ香一ヤクク

一草華一石

○ヤケト

一兵粉ノ一ツス茶一ウヤ

一胡アノ油一チケル一ウカ

一小麦粉水トキチケルニ

一タウハ一チケルニ

一茶のちのちのちのちのち

○クシ茶

一カタツツリ一忌焼メツホ

一ニル一チケルニ

一ニメウノ一ニシク一ハイ入

一忌焼ト

○ 保童必小兒万二語次

一 我本 融ニテ者ル

ニ多

一 セウジ 三三

ニ多

一 下子 鹿双キリ

ニ多

一 ナンモツカサ 三三

ニ多

一 リニシ 仲ノトモ

ニ多

一 カニナヤ 上ノ七行
ハナニモ

ニ多

一 リニコ 三三

ニ多

一 ニクワク 中者ノ格ナリ
ルニテイニスル

ニ多

一 人者

ニ多

一 カニ志ツカハウケル

ニ多

右何モ抄メ・記カ用 似中人地
トモ記カ カリヤク カイオナ

茶葉

一 かくは茶のいっさいをうけてこまめにおろし
いかに乾燥をばこぼしてあらうること
くはらばれては打火があらくゆほ
たましてこまめをいほけこむ
ていばいほけをばわく
おろすものこまめをあらうこと
一 茶葉二つり茶一こちりけい
ちのこちりなるあ、をばわく
おろすこと

いっさい

一 かくは茶のいっさいをうけてこまめにおろし
いかに乾燥をばこぼしてあらうること
くはらばれては打火があらくゆほ
たましてこまめをいほけこむ
ていばいほけをばわく
おろすものこまめをあらうこと

いかに乾燥をばこぼしてあらうこと
くはらばれては打火があらくゆほ
たましてこまめをいほけこむ
ていばいほけをばわく
おろすものこまめをあらうこと

入

一にをぬ一ちをぬ一たしゆ
午時分初め凡初たし可入
入しりよのちやむ也但午時
白僧宛茶事しりりりり
流やあせたりしに節のい
ららる信お告きささら
ちるにちのち目下食こと
一とんせんちやめ茶

一すかひと申の白紙手
き本切と帯もてしめく
と方ほこ方ひ七方せし
用かあ所としてこそし
一とんせんちやめ茶

又おまかや△用し
芝後白紙はし

たしよの茶
一うとしの粉つハの茶の廿
ももろ乙の茶を

三丑キレ物姉茶

一全海氣をうう細末にキガニ三後
いしし水もてあまやちを
せんし用するもねし三丑キレ物
あは下にある

定法トシ

香葉 五ト

伏苓

當心

天黃 三ト

紫胡

桂枝 二ト

烏頭 一ト

蒼朮 四ト

右を五半を五

子ツサニシ

伏苓 八ト

蒼朮 六ト

芍薬 二ト

桂枝 三ト

生薑 三ト

大車 三ト

烏頭 一ト

車竹 二ト

石を五半入るる

小豆虫と川付

一ツサキノ名ヲ注シモ付ク春ス

如

一斗唐の茶ヲ七ト付ク春ス

○此紫蘭膏

一切キズツキキツ
トシアカキレ

一芍药ハクヤク

一紫根ムラサキネ

一蜜臘ハチマツ

一胡麻油コウマアブ

石臼味油多芍药根者即此紫根ヲ入

又他者有芍药名如川芍药ト入麻布ニテ

コヌナリ石ノ蓋物ト黄臘クダキ入至他

カキセサフニテヨシ

或ハ竟肥入テモヨシハ門内名を信傳之

切キツニ付立新イタミヲ為秘奇妙也

○蓮葉

一芍药 一細辛 一白芷

一生地黃 一桔梗 一山梔子

一牡丹 一連壳 一山椒

一丹州

○虫葉

一苦連根クレンネ 一海人ウミナ

一蒲黃ハハ 一使君子シキウシ

一カク

石拉脂潤合黄法如常

カク版

紀伊御製藥

○小兒太極丸 温疫論見エ

天竺黃、天南星各二分、大黃二分

麝香二分、白芷二分、冰片二分

右六味 丸ニ朱ヲ衣トス

○頭痛茶

大黃三分、當歸三分、耳竹香、木通各五分

一升ニ薑酒一合、水二合入ニ合ニ煎ス

一武薑酒一合、水一合入ニ合ニ煎ス

龍眼酒ニテ煎用

主母心ニ小麦くふあやゆと年油と

○疣之瘡前子法洗茶

枳殼、羅陳皮、夏紅花、夏牛房子各四分

黑大豆二分、(二重ナリ)小豆三分、桑枝金五分

桃ノ枝金五分、アトワケ生ニテサシ水三升入

ニ外ニ合ニ煎ス疣瘡セザル小兒トモ煎ス

淡じ汁ヲ以テ之ヲ洗フハ一ツモ

あやちりる一ニ煎ス、三粒程ニサセ

○白止

石灰五分、唐大黃ニキキサシ

右六味口ニ入シイテ桃色ニ染付時兩出シテ用ニ大黃ニ其後捨ル白止妙也

川越血留極秘

一紫椹粉 四匁 一蒲黃 二匁

一及鼻 一本

是ハゴソウウ目方壹匁六分位

右玉月木ハクシニテツクキキキキキ之葉汁ニテ煎火シ大奉書

一收正者大コム也 吉林在道傳ナリ

一瘧瘧シキカニキニハ山ニユ煎シ用高カ

一ハ鼻ツニリハ得ハナスビ之木ヲクスベト通ル

齒藥

一石膏大九

一荊芥大八

一芍藥中六

一芒肖小三

一生地黃中七

一牡丹皮中七

一黃連大八

一耳柞小三

右八味如常煎シ吞ハ樣先一口含ミ
能ウガイノ如クシテ吐捨テ亦一口含ミ前
之如ク牙遠ニシテ程然吞ミスルシ

調和膏 各百九十五分

胡麻油 八十月 丹 四十五匁

當歸 川芎 生地黃 芍藥 以各

各ホ分油ニテ能示ス也ト示ル時
布ニテコシ丹ヲ入ル能シ

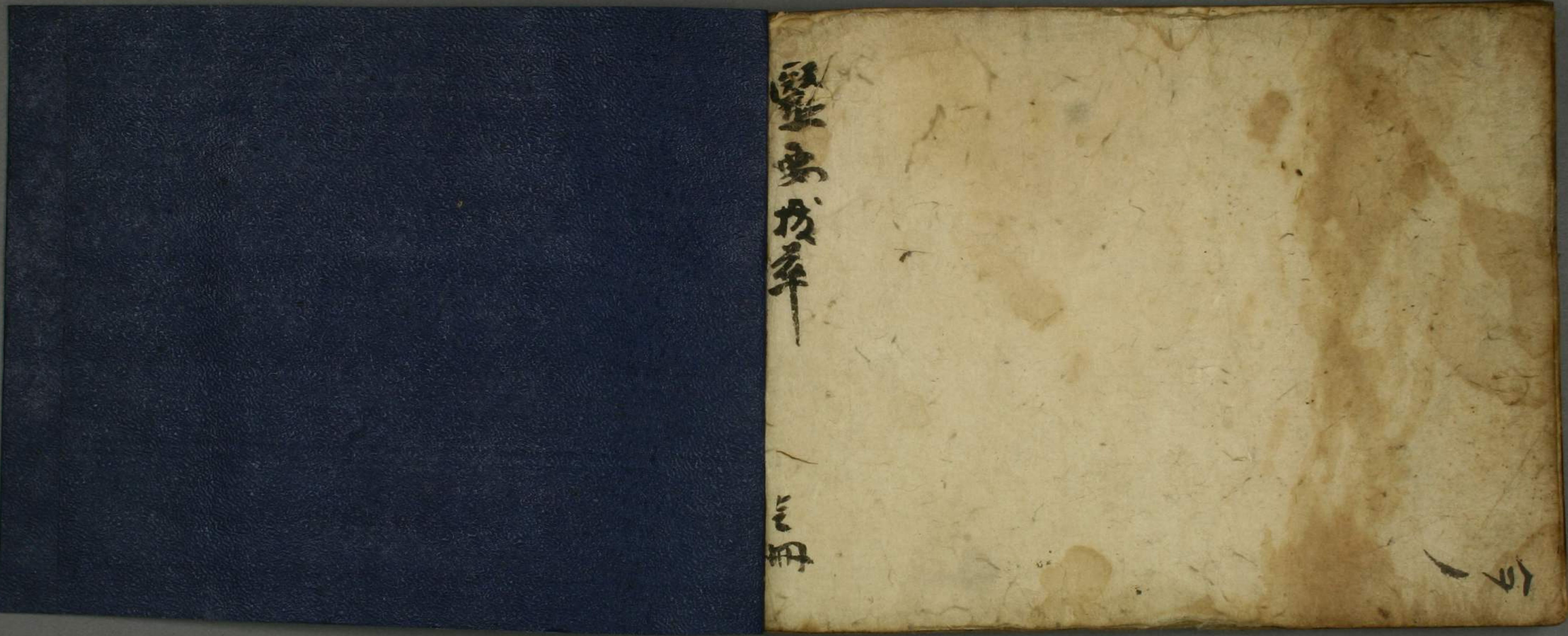
二痼症之秘方

一サアレツフウ

細末

五分

右水とを盪入レ七分と量用中



醫要抄

三冊

今

